いしかわ労福協

第 533 号　2012年6月25日
発　行　所　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　狩山　久弥
編　集　人　上野　貞彦
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定　　価　一部 20円
昭和39年3月30日　第三種郵便物認可

第50回通常総会
労福協50周年
ライフ・サポートセンター10周年に向け、労福協運動の充実を

狩山理事長

石川労福協は、第50回通常総会を5月21日（月）フレンドパーク石川2階ホールにおいて代議員ら関係者約70名の出席で開催した。

総会は、中村栄一副理事長が開会宣言と冨瀬永代議員（連合石川選出）の議長選出をして始まり、先ず、狩山久弥理事長が「行き過ぎた規制緩和による価格競争が、働く者ばかりでなく国民の生活を行き詰まらせており、生活の有り様を見直すべき時にある。このような時こそ、労福協は、労働者はもとより地域住民の福祉向上を求めた活動が必要であり、緊サポ事業に代わり昨年6月に創設した子育て支援事業、婚活支援事業にも新たに取り組み、活動の充実を行ってきた。今年度も「暮らしの総合サポートセンター」としての事業取組みのほか、50周年事業の計画・実施や一般社団法人への移行申請など、重要案件の成功に向け活動を行う。皆さんの一層の理解と協力を願う。」と挨拶した。

続いて、来賓の広川達也石川県労働企画課長、若林昭宏金沢市労働政策課長、民主党石川県連を代表して川裕一郎県議会議員、清水文雄社民党石川県連幹事長から、それぞれ挨拶を受けるとともに、総会に宛てた祝電メッセージを披露して議事に移った。

広川県労働企画課長

若林金沢市労働政策課長

川県議会議員

清水社民党県連幹事長

議事では、2011年度における活動などが報告されたほか、2012年度活動方針では昨年6月に創設した『労福協・子育て支援ネットワーク事業』をさらに推し進め、子育て世代の支援を行うことなど『暮らしの総合サポートセンター』としての機能発揮や、公益法人改革に伴う一般社団法人への移行申請を行う提案がされ、全議案とも満場一致で承認された。

また、今総会において、任期満了による役員改選が行われ、立候補者全員が承認された。

役員改選後、第1回理事会を開催し、狩山理事長や副理事長、専務理事の続投を決定したのち、新役員体制が発表され、続いて議長からスローガンを発表して、採択を確認した。

嶋垣利春副理事長が「本年度は、一般社団法人への移行が最大課題であり皆さんのご協力を切に願う。」と挨拶して総会を終了し、新たな労福協体制による2012年度事業がスタートした。

『暮らしの総合サポートセンター』の充実を目指す活動の５本柱の紹介

１．暮らしの相談
　無料で、労働、金融、保険、介護、子育て、法律、クレサラ、消費生活などにおける問題の相談を受け、問題解決に向けたアドバイスを行う「福祉なんでも相談」事業。

２．子育て支援・地域貢献
　「親子ふれあい行事」、「ファミリーサポートセンター利用料金補助制度」、「生活お役立ち情報配信」により、働く子育て世代の応援をする「ろうふくきょう･子育てネット」事業。未婚者へ「出会いの場を」を提供し婚活を支援する「ろうふくきょう“むすび”ネット」事業など。

３．事業団体支援
　労福協、ライフ・サポートセンター事業の活動を支える福祉事業団体の事業の充実と拡大に取り組む事業。

４．就業支援
　就労希望者の就業支援に取り組む、無料職業紹介所「ジョブいしかわ」事業。

５．スポレク・文化
　退職者・高齢者・現役労働者などの余暇や趣味、生涯スポーツを通じて地域住民の親交を図る事業。

スローガン

メインスローガン
21 世紀・人と暮らし環境に優しい福祉社会を実現しよう！

サブスローガン
１．年金・医療・介護等の社会保障制度の改善を図り、「安心、安全な社会」をつくろう。
２．労働組合と福祉事業団体の連携を強化し、「福祉ネットワーク」を充実させよう。
３．ライフ・サポートセンター活動を県内各地で展開し、地域貢献・社会貢献をめざして、社会的に価値ある「労福協運動」を展開しよう。

2012 年度役員体制

理 事 長	狩山久弥
副理事長	嶋垣利春、中村栄一
専務理事	宮下　亮
理　　事	坂本哲治、横山和男、山口隆、鈴木正美、浅野正、山崎勝博、光林邦彦、天満信夫、柚木光、湊口洋伸、西田満明、中西伊知郎、長﨑正、南高広
監　　事	柴田康廣、奥井良信、酒井敏次

第１回理事会開催

　労福協は、５月 21 日(月)の第 50 回通常総会の途中、第１回理事会を開催した。
　理事会では、同総会による役員改選に伴う理事長、副理事長、専務理事の互選が提案され、提案どおり承認された。
　なお、この理事会の結果について、同総会において報告され、出席代議員の確認がされた。

これからの行事予定

（６月 25 日現在）

開催日	曜日	行　事	会　場
６月 23 日	土	県教育財団　2012 インクルーシブ教育実現！北陸集会	県教育会館
〃	〃	ライフ・サポートセンター退職前セミナー　金沢会場	フレンドパーク石川
24 日	日	同上　退職前セミナー　白山会場	白山市労働会館
〃	〃	同上　退職前セミナー　小松会場	小松市民センター
25 日	月	石川県生協連第 47 回通常総会	フレンドパーク石川
26 日	火	北陸労働金庫第 11 回通常総会	県立音楽堂
７月 ４ 日	水	労福協 50 周年記念事業準備委員会	フレンドパーク石川
12 日	木	全国会館協議会　幹事会　（～ 13 日）	福岡県
17 日	火	中央労福協　第２回地方労福協会議	東京都
18 日	水	国際協同組合デー中央集会	〃
28 日	土	ろうふく“むすび”ネット 婚活イベント	加賀市
８月 ７ 日	火	ライフ・サポートセンター第５回幹部研修会	〃

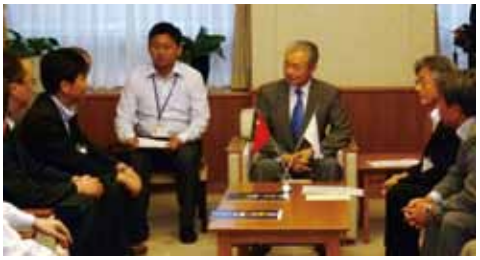
蘇州市総工会主席らが来訪

「フレンドパーク石川」前で待ち受けた館内関係者らと

石川労福協が1986年来の友好交流を続けている蘇州市総工会の第13次業務考察団が、5月28日(月)から6月2日(土)の日程で来日した。

今次の訪日団は、温祥華主席を代表とする5名で、主席が当労福協を訪問するのは友好交流が始まって以来、初めてのことであった。

蘇州市総工会がある蘇州市と金沢市は昨年、姉妹都市30周年を迎え、蘇州市で開かれた式典に、当労福協から上田弘志理事長(当時。現北陸労働金庫副理事長)を代表に5名が列席した経過や、日中国交正常化40周年にもあたることから、当協議会との交流も新たな次元に進んでいくことを期して温主席自らが訪日した模様であった。



中西副知事を表敬訪問

5月28日(月)の小松空港到着から、翌日の29日(火)は、中西吉明石川県副知事の表敬訪問、山野之義金沢市長の表敬訪問、当労福協及び会員団体との意見交換会及び歓迎会、北陸労働金庫石川県本部及び全労済石川県本部の表敬訪問、小松製作所粟津工場の見学と慌ただしい日程を、滞りなく進めた。

山野市長と

労福協及び事業団体との意見交換会

また、僅かな時間であったが、石川県を代表する兼六園、金沢城公園、21世紀美術館、ひがし茶屋街を散策・見学することができ、金沢市を中心とした石川県内の良さを味わっていただくことができた。

訪問団を代表して挨拶する温主席（中央）

歓迎の挨拶をする狩山理事長

飴谷県商工労働部次長

山田金沢市経済局長

当労福協との意見交換会と事業団体の表敬訪問では、当方からの事業紹介等に対し、「全労済と一般の保険会社との保険の違い、メリットは？」、「労働金庫と市中銀行との違いは？、また、資金調達はどうしているのか？」等の質問があり、それぞれ、担当役員から丁寧に回答され、理解した様子であった。

意見交換会後に開催した歓迎会で、狩山久弥理事長は「蘇州市総工会とは、1986年以来、今回で13回目を数えるまでの交流を深めてきており、温主席をはじめとする訪日団一行を熱烈歓迎する。中国は目まぐるしい経済成長を遂げ、いまや世界のトップに躍り出るほど躍進している。我々の交流は、必ずや国同士の友好関係に繋がるものと期待している。来日中は存分に見聞を広め、エンジョイされたい。」と熱烈な歓迎をした。これに対し、団を代表し温祥華主席は「これまでも互いに友好交流を深めてきた。今回の訪日においても石川労福協との友好親善

ホイールローダの前で

説明していただいたコマツ粟津工場
藤田総務課長（左）と
石黒コマツユニオン北陸支部書記長

に努め、相互の関係を深めながら日本を見学していきたい。また、蘇州市にも訪問いただきたい、歓迎します。」と返礼があり、相互の友好が確実であることを確認しあい、一献を交わした。

中西副県知事の表敬訪問では、「石川県は蘇州市のある江蘇省との友好交流を進展してきている。蘇州市総工会も長年積み重ねてきた石川労福協との友好交流を発展し、労働者福祉の増進につなげられたい。」と歓迎し、温主席は「積み重ねてきた友好交流の成果は尊い。また、日中国交正常化40周年目の訪問には意義がある。」と挨拶した。

北陸労金石川県本部を表敬訪問

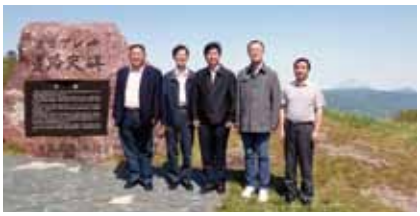
全労済石川県本部を表敬訪問

山野之義金沢市長の表敬訪問では、「昨年の姉妹都市30周年を機に、文化のみならず経済など幅広く交流を深めることが大切であり、互いの労働者が交流を深め実りあるものとされたい。」と歓迎し、温主席は「労働者同士の友好を今後も深めていくとともに、経済などを通じ蘇州市と金沢市の交流も深めていきたい。」と挨拶したほか、金沢市の都市景観について山野市長と質疑応答するなど、しばしの歓談が行われた。

小松製作所粟津工場の見学では、藤田茂総務課長と石黒茂樹コマツユニオン北陸支部書記長から会社・工場の概要説明を受けた後、同社の奥野さんの解説によるホイールローダ等の製造ラインを見学した。その後の質疑応答では、中国におけるコマツの製造・販売の状況や粟津工場労働者の賃金水準などの質疑が交わされ、有意義な会社見学を行った。

兼六園の花見橋で
満開のカキツバタを観賞

金沢城公園



羊帝山を望むオロフレ峠

やっぱり札幌といえば
時計台

来日初日と二日目に、過密なスケジュールをこなしつつ、当協議会等との友好交流を深めた後、小松空港から北海道に向かった。

北海道では、札幌、小樽、登別を訪ねたほか、その道中、オロフレ峠では、地元の人も滅多に遭遇しないほど澄み渡った眺望に出会え、北海道の大自然を目の当たりに大絶賛。北海道で一番のお土産を目に焼き付けて、千歳空港から中国への帰途についた。

空港出国ゲートを前に最後の一枚

50周年記念事業準備委員会

石川労福協は、創立50周年記念事業の実施に向けた第3回50周年記念事業準備委員会を6月11日(月)フレンドパーク石川で開催した。

これまでの協議の中で確定してきた創立50周年を記念した「講演会の開催」、「記念誌の発行」、「記念植樹」以外の未確定事業について協議した。中でも、災害ボランティアが有効な活動をできるようなコーディネーターの養成を支援する活動や、飢餓などに苦しむ人たちへの支援活動などを行うことが労福協の取組みとして有効ではないかとして、方向性を取りまとめた。

中部会館協議会総会・研修会

中部労働福祉会館協議会(中部会館協)は、6月14日(木)三重県伊勢市の伊勢志摩労福協(伊勢シティホテル)において、協議会11会員の代表者が出席して平成24年度定期総会を開催した。

総会では、初めに田村恒夫中部会館協会長が「東日本大震災の影響など厳しい環境下において、それぞれが事業推進に努めてきた。今後も、労働者福祉の向上と会員事業の発展に一層の努力を積まれたい。」と挨拶して始まり、提案された全議案を承認決定した。今総会では、役員改選が行われ、新会長にライズビル都賀山(滋賀県)の中塚宗浩氏を選任して閉幕した。

引き続き行われた役職員研修会では、皇學館大学文学部教授の岡田登氏から、伊勢神宮式年遷宮を来年に控え『式年遷宮と伊勢のまち』をテーマに「伊勢神宮の成り立ちや参宮者にまつわる風俗」について講演を受け、翌日には皇大神宮(伊勢内宮)を見学・散策し、遷宮の槌音を耳にしながら後学を深め研修を終えた。

2012年中央労福協「全国研究集会」

全国研究集会

6月1日(金)～2日(土)、長野県長野市において、2012年中央労福協「全国研究集会」が開催された。

今回の研究テーマは「国際協同組合年に際し協同組合の社会的役割と価値を考察する」と題し、全国から244名の関係者が参加した。

国際協同組合年については、2009年の国際連合総会において2012年を国際協同組合年とすることが決定され、現代社会において協同組合が果たす「貧困の撲滅」や「社会統合の強化」等重要な社会的役割と価値を広く認知させるとともに、協同組合をより一層発展させることを提唱している。

集会の初日は、主催者を代表し、山本幸司中央労福協副会長の開催挨拶でスタートし、中山千弘長野県労福協理事長、続いて阿部守一長野県知事から歓迎挨拶がなされた。

特別講演では、中川雄一郎明治大学教授から「『欧州などの歴史的な協同組合の事例』や『日本の協同組合への期待』」、第2講演で上田正消費信用生協専務理事から「協同組合の社会性を考察する」と題し講演がなされた。

第2日目は、古賀伸明中央労福協理事長の挨拶で開始され、続いて安藤栄二労働金庫執行役員、原日出夫全労済専務理事、青竹豊日本生協連執行役員、古村伸宏労協連専務理事、藤谷恵三医療福祉生協連専務理事から、それぞれの団体の、国際協同組合年に対する取組み姿勢及び現況報告があり、引き続いてのパネル・ディスカッションでは、これら5団体をパネラーとして「協同組合の展望と可能性」について、討議し研究集会を終了した。

なお、石川労福協から、宮下亮専務理事、浅野正連合石川事務局長、掛場誠一北陸労金石川県本部担当部長、中村栄一全労済石川県本部長、奥村寛道労信協専務理事、谷内英明県ＬＳＣ事務局次長が参加した。

石川労福協県 LSC 事務局次長　谷内英明

総会・評議員会

石川労福協を構成する事業団体の総会や評議員会および各地域のライフ・サポートセンターの総会がそれぞれ開催された。

また、この先、北陸労働金庫（6月26日（火））、石川県生協連（6月25日（月））、全労済石川県本部（7月27日（金））の総会、代表者会議が予定されている。

他団体の役員名簿

労信協（石川県労働者信用基金協会）
第45回定期評議員会
2012年6月21日（木）フレンドパーク石川

理事長	坂本　哲治	労信協
専務理事	奥村　寛道	労信協

勤体協（石川県勤労者体育協会）
第45回定期総会
2012年5月29日（火）フレンドパーク石川

会　長	高　芳晴	金沢市議会議員
副会長	宮下　亮	労福協
〃	船塚　俊克	連合石川
〃	長澤　博	勤体協
〃	松原　秋夫	〃
〃	竹田なを美	〃
事務局長	中野　俊一	勤体協

勤文協（石川県勤労者文化協会）
第43回通常総会
2012年5月31日（木）フレンドパーク石川

会　長	大樋長左衛門	顧問（工芸）
副会長	宮下　亮	労福協
〃	浅野　正	連合石川
事務局長	吉田　寿子	労福協

さわやかU（いしかわ介護ボランティアセンター）
第12回通常総会
2012年6月20日（水）労済会館

理事長	澤　信俊	金沢星稜大学
副理事長	狩山　久弥	労福協
〃	嶋垣　利春	労金石川県本部
〃	中村　栄一	全労済石川県本部
〃	中西伊知郎	連合石川
〃	北尾　強也	連合石川法曹団
〃	関戸　正彦	退職者連合
事務局長	宅本　門示	連合石川
事務局次長	上野　貞彦	労福協

消団連（石川県消費者団体連絡会）
2012年総会
2012年6月4日（月）フレンドパーク石川

代表幹事	宮下登詩子	ｉ女性会議・金沢くらし
副代表幹事	宮下　亮	労福協
〃	津野　忠司	連合石川
〃	田向　章子	ｉ女性会議・金沢くらし
〃	冨瀬　永	食とみどり・水を守るいしかわネットワーク
〃	堀口　亮一	生協連
事務局長	青海万里子	生協連

第14回環境フォーラム

パネルディスカッション

大塚敏夫副代表

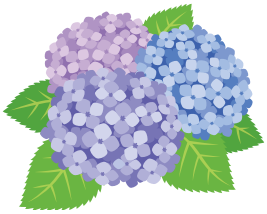
6月5日（火）金沢都ホテルにおいて第14回環境フォーラムが開催された。この環境フォーラムは、連合、中央労福協、労金協会、全労済の4団体で構成する「ライフスタイルを見直す環境会議」が主催したもので、1999年から毎年開催されており、全国の労働団体や福祉事業団体より約150名が参加した。なお、金沢市での開催は今回が初めて。

フォーラムでは、大塚敏夫副代表が「これからの協同組合の役割」について講演し、「再生可能エネルギーの普及と地域づくり・まちづくり」のパネルディスカッションでは、環境省、石川県、能登半島おらっちゃの里山里海、国立環境研究所の各団体関係者をパネラーに、地域循環圏の実現と地域の活性化に向けてそれぞれの意見を提起した。

この他、「北陸におけるフードバンクの取り組み」、「キックオフ2012年度連合エコライフ21」について、それぞれの団体から取り組み状況や説明が行われ閉会した。

環境フォーラムには全国の労働界からたくさんの仲間が集まり、環境政策の原点について話し合うことは非常に意味深いものであった。

石川労福協専務理事　宮下亮



勤文協「写真サロン・フローラルアート展」

勤文協（石川県勤労者文化協会）は、５月31日（木）に第83回石川県統一メーデー協賛の「第44回勤労者写真サロン・フローラルアート展」をラブロ片町（金沢市）内のアートシアターいしかわで開催し、多くの鑑賞者が来場した。

また、最終日の６月３日（日）に行われた審査員による講評では、多くの出品者が興味深く目と耳を傾けていた。

なお、出品された写真については、この会場のほか、県内６会場で巡回展示されている。

第83回メーデー賞
「希望・絆」
正田　邦彦（白山市）

石川勤文協会長賞
「いたわり」
折戸　美和子（かほく市）

七尾市長賞
「ひと休み」
泉谷　桂子（かほく市）

金沢市長賞
「スリル」
砂井　とみ子（金沢市）

金　賞
「華　ダイヤ」
本保　静香（白山市）

小松市長賞
「東京新景」
北村　孝一（金沢市）

輪島市長賞
「光　芒」
西村　俊明（金沢市）

銀　賞
「涼　風」
宮村　美紀（金沢市）

加賀市長賞
「カラーロード」
山下　静子（金沢市）

白山市長賞
「旭　光」
荒川　芳男（金沢市）

銅　賞
「再　生」
高屋　恵子（金沢市）

能美市長賞
「能登の朝明け」
城　政太郎（野々市市）

北國新聞社社長賞
「残　秋」
橋田　隆吉（金沢市）

「消費者支援功労者表彰」を受賞

授与された表彰状と盾

消団連（石川県消費者団体連絡会、代表幹事宮下亮）は、5月28日（月）首相官邸において松原仁内閣府特命担当大臣から「消費者支援功労者表彰」を授与された。

これは、地震等災害時における図上訓練の実施、消費者大会での時機にあった内容の講演会の開催、長きに亘る消費者行政調査の実施などの活動が認められたもの。消団連を含む今回の表彰団体は、全国で10団体。

松原大臣から
表彰状を受ける宮下副代表

授与式には、宮下登詩子副代表幹事、青海万里子事務局長が出席し表彰を受けた。

海岸をきれいに！

参加者集合

金沢ライフ・サポートセンターは、「クリーン・ビーチいしかわ」実行委員会が5月27日（日）午前7時に金沢市佐奇森の海岸において行う海岸清掃に連合かなざわと合同で参加した。

今年は、天候に恵まれ爽やかな朝の活動となったが、海岸一面に漂着したゴミや流木などを人海戦術により拾い集め、清掃活動に汗をした。

またたく間にキレイな砂浜に蘇った様を見て、僅かだが環境整備に貢献できたことと思う。

隅々までキレイに

事務局次長　吉田寿子

勤 体 協

第46回県勤労者春季剣道大会（5月27日・県立武道館）

◇団体　①北陸綜合警備A②新化館A③金沢市工OB会A、新化館B

◇個人▽男子　①大森雄太（金沢刑務所B）②佐藤博之（北陸綜合警備A）③徳和利明（富永剣友会）山崎朝也（金沢市工OB会A）▽女子　①藤田涼香（一文字会）②山路佳奈（同）③高真紗代（北陸綜合警備C）宮下麻菜（同）

第46回県勤労者春季体育大会・第83回メーデー協賛第11回綱引大会（5月27日・金沢市城西体育館）

◇男子　①津田駒工業労働組合②全日通労働組合③日通小松運輸労働組合④倉庫精練労働組合

第46回県勤労者春季ソフトボール大会第3日（5月27日・金沢市営専光寺ソフトボール場）

E組　①若松梱包運輸倉庫②KPS―A③マシナリーズ

F組　①FJH②DZシャークス③ダンディーズ

各種集会・講演会・研修会等には
フレンドパーク石川を
ご利用下さい。

予約は電話でOK!　(076)234-2421

訂正とお詫び

本年4月25日発行第531号の勤文協会報発刊記事において、大樋長左衛門勤文協会長が受賞された賞の表記に間違いがありましたので訂正し、お詫びいたします。

正しくは「文化勲章」です。

※この機関紙は再生紙を使用しています。